

## 第 4 1 回病診連携委員会要録

日 時 平成 25 年 3 月 25 日 (月) 午後 7 時 30 分  
場 所 浪速区医師会 会議室  
出席者 浪速区医師会 : 6名  
南 医 師 会 : 1名  
愛 染 橋 病 院 : 2名  
大 野 記 念 病 院 : 3名  
四 天 王 寺 病 院 : 1名  
多 根 総 合 病 院 : 1名  
富 永 病 院 : 2名  
浪 速 生 野 病 院 : 2名  
社 会 福 祉 協 議 会 : 1名  
介 護 事 業 所 : 1名  
ブ ル ー カ ー ド 事 務 局 : 1名  
浪 速 区 医 師 会 事 務 局 : 1名

### 議 題

#### 1. 第 40 回病診連携委員会報告について

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

#### 2. ブルーカード事例検討等連携病院からの報告について (富永病院)

富永病院の診療体制が今春より変更となることが報告された。富永病院では、心臓血管外科の常勤医が不在となるため、外科治療の対象患者の受け入れが困難となる。但し、非常勤の医師は在籍しているのでこれまでの患者のフォローについてはこれまでと変更はない。これからの外科的治療が必要な患者については市大病院へ紹介する予定であると報告された。

#### 3. 病診連携委員会のアンケート結果について

今回は大阪府医師会からの病院の機能分化に関するアンケートに答えるべく、連携病院と介護部門の意見をうかがった。結果は別表のとおりであった。久保田議長より、2次医療圏については、平成12年に提案された区分は現実と乖離しており、浪速区の所属する東部地区に西部地区の西区、南部地区の西成区を含めた医療圏が真の2次医療圏と考えられ、ブルーカードはこの医療圏の単位で考えるべきであると説明された。

#### 4. ブルーカードで受け入れできなかったケースの報告について (連携病院)

愛染橋病院からは、下肢に脱力感があり脳外科疾患の関与が疑われる症例が報告された。地域連携室が関与できず、内部の医師との調整や病病連携がうまくできない場合は救急隊に依頼する方が、無駄が少なくよい場合もあるとの意見であった。浪速生野病院は、脳外科疾患の関与が疑われる症例は、まず脳外科での診察を受けてもらって、否定されれば受け入れすることができるとのことであった。多根総合病院は、近隣の住人であれば、脳外科疾患の関与が疑われても受け入れが可能であるとのことであり、富永病院は、これまで通りブルーカード登録症例で脳外科疾患の関与が疑われる場合は、受け入れできるとのことであった。

大野記念病院からは、吐血のある症例で、オンコールの消化器内科の医師に連絡をしたが受け入れできなかった症例が報告された。可能な限り連携病院で受け

入れるブルーカードの主旨からは、病病連携がさらにうまくいくよう疾患別の病病連携の紹介パターンを作ることが提案された。

#### 5. 今後の2次連携病院の在り方について

日常の診療を受けている病院が2次連携病院であるために、ブルーカードで指定できないというケースが多くみられる。病院にはカルテもあるので、その2次連携病院が1次連携病院のように最初に受け入れることができないかを検討した。

登録の段階で、1次だけでなく2次の連携病院も指定しておくとする意見や、2次連携病院がかかりつけであることを前提に疾患別に1次受け入れを行えるようにするなどの意見が提案された。しかし、1次と2次の両方の病院に、ブルーカード登録の承諾を得る手続きをすることは手間がかかり、病院ごとに疾患別の1次、2次登録を考えることは非常に煩雑であるとの指摘があった。通常は、日常診療を受けている疾患については、その病院で診てもらいたいと考えるはずである。大前提として、日常診療を受けている2次連携病院を初めに受診しても、診察結果がかかりつけ内容と無関係であったり、受け入れられない疾患であった場合には、1次連携病院が責任を持って受け入れることが確認された。受け入れ後は、自院でみるか、他院へ紹介することとなるが、いずれにせよ1次と2次の連携だけでなく、2次同志の連携がなければ受け入れ態勢は構築できない。久保田議長より、地域の患者である限りは、1次、2次にかかわらず連携病院のどこかでみていくスタイルを保持してほしいし、どのような連携が可能かを病院間で相談して欲しいと述べられた。

#### 6. 大阪府転退院調整・在宅医療円滑化ネットワーク事業について

3月28日に大阪府医師会館で開催される「平成24年度ブルーカード在宅プロジェクト」の実績報告の予演会が行われた。

#### 7. メディネットからの案内について

院内情報サービスであるメディネットシステムを利用したブルーカードの案内のデモが紹介された。

#### 8. その他

現時点でのブルーカードの登録件数は、浪速区437件、他地区93件の合計530件、現在までの使用状況は、浪速区319件、他地区13件、稼働件数は24件であると事務局より報告があった。1例の受け入れ困難症例が報告された。